



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側
受賞企業紹介

第4回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

“知恵”を結集し、再生医療を一般医療に！ ライフサイエンス領域の グローバルニッチトップを目指して！



プラン名
繊維の技術活用で
手術時の負担が軽減する医療素材を開発 拡販

代表取締役社長
上杉 昭二

株式会社京都医療設計

京都市山科区四ノ宮神田町4番地
古橋山科ビル
☎ 075-594-5595
http://www.kyoto-mp.co.jp/

プロフィール
1966年生まれ。プラスチック材料の製造から加工全般にわたり開発畑を歩んできた。2018年 ニッケグループのメディカル事業立上げに携わる。2023年より現職。

私は化学繊維の原材料であるポリマーの開発に長く関わっています。化学薬品メーカーや樹脂製品メーカーを経てニッケ(日本毛織)グループに転職し、スポーツ用品の化学繊維の開発に携わっていました。

2012年にニッケグループは新たに繊維技術を活かして医療分野に進出。その流れで私は2018年に社内ベンチャーとしてニッケ・メディカルを設立し、役員に就任しました。

同年、京都大学の田畑泰彦教授と開発したのが、再生医療における培養細胞を活性化させる足場材「Genocel®」です。研究用として販売を開始しましたが、高度管理医療機器として製造・販売するには、医療機器製造販売業の許可が必要という課題に直面しました。その頃、医療機器商社でありながら高度管理医療機器(クラス4)で製造・開発・品質管理・薬事申請・国内治験まで行える京都医療設計と出会い、2023年にニッケ・メディカルと合併して、社長に就任、「Genocel®」を高度管理医療機器として販売することを目指しています。

指しています。

今回の受賞プランで販売強化を目指す吸収性組織補強材「Powdre®」は、手術後に生体内で吸収されるシート状の医療素材で、手術時間が短縮できるため、患者の身体的負担軽減に貢献します。これは、世界で初めて人の冠動脈に使用されたステント(体内の管状の部分の内側から広げるために使う器具)を開発・海外販売の実績がある京都医療設計のノウハウと、ニッケの毛織物の技術・設備、そして私のポリマーの知見と経験の結集により誕生しました。

私は、この「Powdre®」を、日本だけでなく同じ手術方式を採用している中国をはじめ諸外国へ積極的に展開するのはもちろん、今後は、再生医療が誰もが当たり前に受けることができる一般的な医療にするためのチャレンジを続けていきたいと思っています。

👑 ビジネスプランの詳細はこちら



京商の支援

JETROや他の支援機関とのネットワークを活用し、本プランが目指す海外販路開拓をサポートします。